

科目名	地域災害医療学			ナンバリング	REG131	授業形態	講義
対象学年	2	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	1単位
代表教員	山崎勝弘	担当教員	片桐拓也 村田 亮 永田隆之 石川哲夫 高木竜輔				

授業の概要	<p>先の東日本大震災において、本学臨床系教員は薬剤師としての職能を如何に発揮することで地域医療に貢献した。本授業においては、震災による被害から地域医療を守り、復興させ更に発展させるうえで何に配慮し何をすべきか、どのような薬剤師職能を練磨する必要があるのか、を実際の現場の証言やデータをもとに討論する。また、地域における医療の現状について調査し、課題を見出して解決方法を小グループ討論により提案する。本授業においては、実際に被災地へ赴き、震災による被害と復興の現状を視察して薬剤師のなすべきことに思いを馳せることから始める。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 東日本大震災の時に東北地方に起きたことや、いわき市の生活への影響について要点を簡潔に述べるができる。</li> <li>2. いわき市周辺の被災跡と復興の状況を視察し、“語りべ”の方からの説明を聴いて、それらの概略を簡潔にまとめることができる。</li> <li>3. 震災時 医療現場や薬局で何が起り、どう対応したかに関する講話を医師、薬剤師、看護師、臨床系教員から聴き、震災時に医療人に求められることは何かを考え、小グループで討論し、まとめることができる。</li> <li>4. いわき市役所における地域医療への取り組み状況についての講話(病気の頻度、死因、医療機関・医療人の数、県や市の主な医療対策等)を聴き、それをまとめることができる。</li> <li>5. 1～4迄の講話を基に、地域医療の課題と薬剤師の役割について小グループで討論し、まとめて発表することができる。</li> </ol>
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	<ol style="list-style-type: none"> <li>①この講義では、地域災害における医療人の活動を中心に行うので、あらかじめ提示された課題を中心に、十分な予習(情報収集)が必要である。</li> <li>②各講義では、おもにパワーポイントで作成した資料を配布する。③毎回レポートを提出するが、的確な表現で簡潔に纏めること。また、提出期限は、次回の講義の日までとする。</li> </ol>
ディプロマポリシーとの 関連	【薬学部薬学科のディプロマポリシー】
	○ 1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマンイズムと倫理観を具現できる。
	2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。
	○ 3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。
	○ 4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。
	○ 5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
<ol style="list-style-type: none"> <li>①東日本大震災の時に東北地方に起きたことや、いわき市の生活への影響について概説できる。</li> <li>②いわき市周辺の被災跡と復興の状況を視察し、“語りべ”の方からの説明を聴いて概略をまとめることができる。</li> <li>③震災時 医療現場や薬局で何が起り、どう対応したかに関する講話を医師、薬剤師、看護師、臨床系教員から聴き、概要をまとめることができる。</li> <li>④いわき市役所における地域医療への取り組み状況についての講話を聴き、それをまとめることができる。</li> </ol>	<p>震災時の医療現場や薬局での状況を聴き、自分がその場にいたらどうすべきかをシミュレーションできる。何が起り、どう対応したかに関する講話を医師、薬剤師、看護師、臨床系教員から聴き、震災時に医療人に求められることは何かを考え、小グループで討論し、まとめることができる。 1～4迄の講話を基に、地域医療の課題と薬剤師の役割について小グループで討論し、まとめて発表することができる。</p>

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	○	○	○				70%
授業態度・授業への参加	○		○	○	○		30%

課題、評価のフィードバック	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 聴講した後に、全員が講師とディスカッションし、意見を出してレポートに反映させる。</li> <li>2. 提出されたレポートは教員全員で評価し、必要なときにはその都度修正を行う。</li> </ol>
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	東日本大震災におけるいわき市の状況	東日本大震災で東北地方に何が起こったかを見聞する。	
	第2回	被災地の現地調査	いわき市の海岸での津波被災地の被害状況と復興の現地調査を行う(見学)	
	第3回	震災時のいわき市における医療現場の取り組み①	医師・看護師の立場からの講話を聴き、質疑応答する。	
	第4回	震災時のいわき市における医療現場の取り組み②	薬剤師の立場からの講話を聴き、質疑応答する。	
	第5回	震災時のいわき市における医療現場の取り組み③	薬学臨床系教員の立場からの講話を聴き、質疑応答する。	
	第6回	まとめ①	災害時における薬剤師の果たすべき役割を考える。(DMAT演習を含む)	
	第7回	いわき市における地域医療の取り組み	いわき市における地域医療への取り組みを聴き、質疑応答する。	
	第8回	まとめ②	地域医療の課題と薬剤師の役割を考える。(SGD)	
	第9回			
	第10回			
	第11回			
	第12回			
	第13回			
	第14回			
	第15回			
		試験	試験は実施しない。	
授業の進め方	聴講した後に全員が質問し、講師と討論する。 2. SGDでは、討論後にプロダクトを発表し、教員及び学生全員で評価しあう。			
授業外学習の指示	予め課題を出すので、その概要について調べておく。(予習:90分)。 聴講内容をまとめ、与えられた課題に関するレポートを作成する。(復習:90分) (授業外学習時間: 毎週 180 分)			

教科書	
参考書	毎回、講義資料を配布する。
参考URLなど	
その他	第1回ならびに第3回から第8回は各2時限(180分)の授業とし、各回(授業)は隔週で実施する。 各回のレポートは、次回の授業時まで提出する。